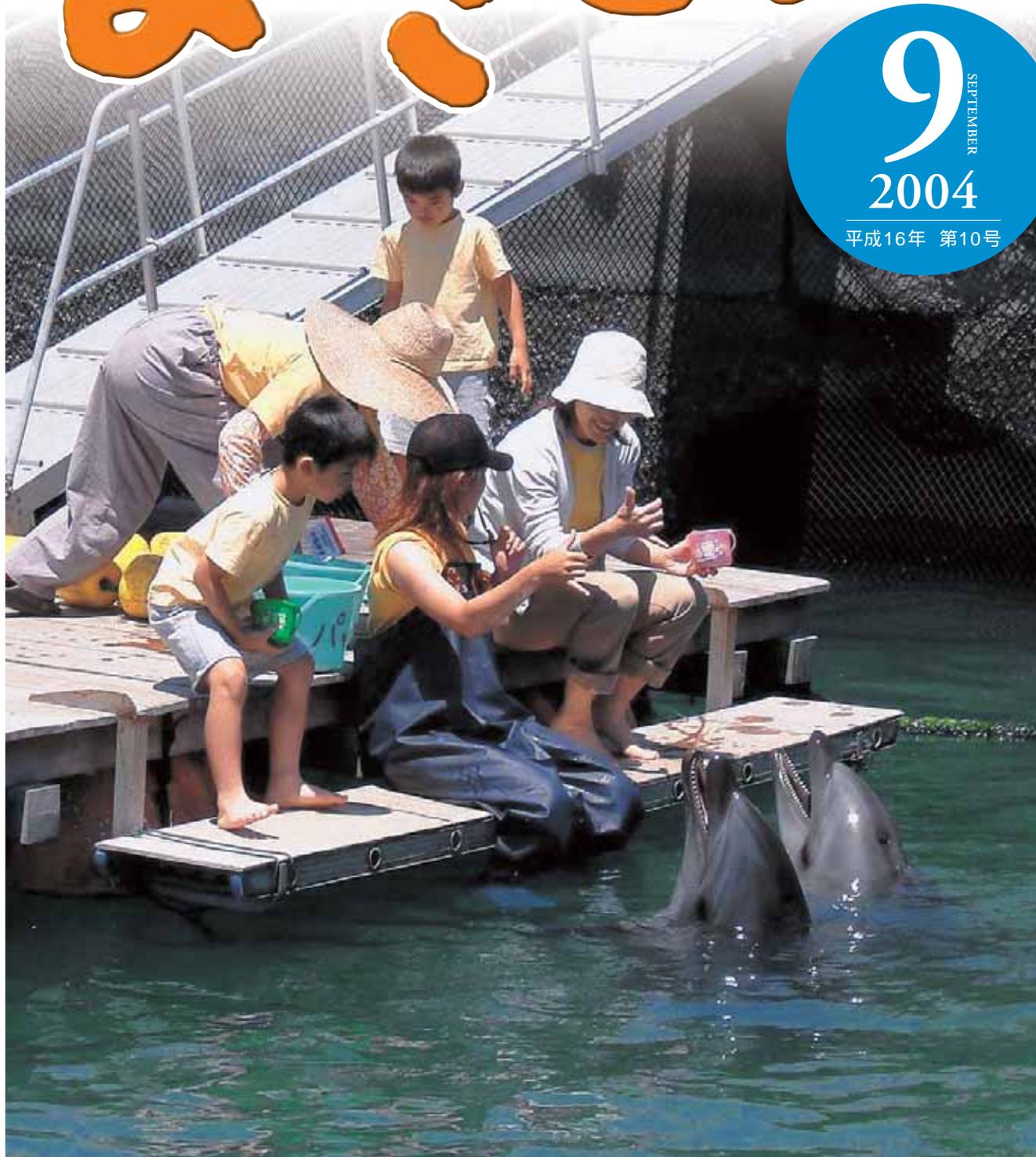


# よこい

9  
SEPTEMBER  
2004

平成16年 第10号



独立行政法人労働者健康福祉機構

高知産業保健推進センター

挨拶 高知県商工会議所連合会 会頭 入交太二郎	1
職場における中年の危機 高知産業保健推進センター地域担当相談員 清谷 知郎	2
デジタル粉じん計LD-3Kによる粉じん測定操作について 高知産業保健推進センター相談員 門田 義彦	4
産業看護の現場から ㈱富士通高知システムエンジニアリング 健康管理室 保健師 三宮 文枝	6
野山のダニに気を付けよう! 高知県衛生研究所	8
東部保健所における働く人の支援事業について 高知東部保健所所長 鈴木 順一郎	10
管内の労働災害発生状況等について 高知労働局労働基準部安全衛生課	12
須崎地域センターだより 須崎地域産業保健センター コーディネーター 市川 勇	15
産業医学研修会のご案内	16
産業保健セミナーのご案内	17
地域産業保健センターのご案内	19
助成金のご案内	20
編集後記	21



#### 表紙写真について 「ドルフィン給餌体験」

イルカとのふれあいを通してイルカと人間の関係を学術的に調査することを目的として麻布大学と室戸市が主体となり、イルカの試験飼育を室戸市の室岬新港で行っています。その試験飼育の一環としてのイルカの給餌・トレーニングのうち、1～2回を一般の方が体験する機会を設けており、そのときの様子を撮影したものです。

# 挨拶

高知産業保健推進センターの保健相談員の先生並びに、事務局員の皆様におかれましては平素から企業労働者の健康管理の推進に、ご尽力されておりますことに深く敬意を表します。

さてわが国経済は、昨年後半より、ようやく明るさが見え始め、全体として景気は回復を続けておりますが、私ども地方の中小企業にとりましては、相変わらず厳しい経営環境にあります。加えて昨年から着手された、三位一体改革では、国庫補助負担金の削減や地方交付税の見直し等が推し進められ、全国の自治体において深刻な財政危機に見舞われております。特に高知県は国への財源依存度が高く、公共事業の縮小やデフレ不況による企業倒産、後継者不足等による廃業など、中小企業の経営者にとっては先の見えない厳しい状況がつづいております。

一方、企業で働く労働者は、将来への社会保障制度の不安や、職場内での人間関係、リストラ等々に直面し、家庭内では住宅ローンの返済や子育てなどに苦労され、日々ストレスにさらされております。

このほど厚生労働省・労働安全衛生研究班によって“心の病”に関する全国調査が行なわれ、その内容が新聞記事に掲載されました。

「精神障害による疾病休業に関する事業場調査」によると、企業規模の小さい300人未満の事業所で働く従業員は、心の病にかかる率が高く、わが国の労働者人口の大部分を占める中小規模事業所において1ヶ月以上の疾病休業総人口推定値は47万4000人、疾病休業総月数推定値は246万4800ヶ月となり、賃金ベースによる逸失利益は9468億9400万円と推定しております。

そして復職に関しては、様々な取り組みが事業所

においてなされているようですが、その内容には、ばらつきが大きいことから困難を伴い、携の重要性が指摘されております。

“企業は人なり”といいますが、従業員なくして企業は成り立たちません。経済のグローバル化とともに複雑化する社会で、わが国は2015年に総人口の25.2%、4人に1人が65歳以上という高齢化社会を迎え、労働者も一段と高齢化が進んでまいります。そして中小企業においては、パートタイム労働者の従業員に占める割合が年々増加し、これまで正社員が分担してきた役割をパートタイマーが量的、質的にも代行するケースが多くなってまいりました。

高知商工会議所では、平成15年度から労働局の指定を受け、中小企業を対象に、パートタイマーの健康管理の推進に務めるため健康診断を実施しております。当所といたしましても、高知産業保健推進センターのご協力を賜り、中小企業に働く勤労者の健康サポートのお役に立てるよう今後も取り組んでまいりたいと思います。

最後に、今年の4月1日に「独立行政法人労働者健康福祉機構」となられた産業保健推進センターにおかれましては、保健相談員の先生と事務局員の協力体制のもと、勤労者の保健ニーズを的確にとらえ、高知産業保健推進センターの活動が、県内中小規模事業所の皆様に一層の理解を深めていただき益々発展されますことを祈念申しあげましてご挨拶といたします。



高知県商工会議所連合会  
会頭 入交 太二郎

# 職場における 中年の危機

高知産業保健推進センター

地域担当相談員 清谷 知郎



**私**の住む宿毛市は人口が約二万四千人の小さな町だが、この町が「三年間で四つ消える」ほどの多くの自殺者が日本では出ているのだ。年間で三万数千人、三年で十万人を超す。これを「異常」と呼ばずして何と言おう。新聞によれば年間自殺者の半数強が、年間残業百時間を越えていたという。

**片**ヤリストラの嵐、こなた拷問に近い過重労働…いずれにしても過酷な状態である。自殺に至る前に「うつ病・うつ状態」を早く診断し、十分な休養をとらせ薬物療法や精神療法を施すことが望まれるが、21世紀の日本でこれらが適切に行なわれているだろうか。

**さ**て、私が実際に経験した症例を二、三御紹介してみたい。(プライバシーに配慮して設定は若干変えてあり、本人の了承も得ている。)

**四**十代半ばのシステムエンジニア。若い頃から県外で就職し、コンピューターの仕事を一途にこなしてきた。結婚して子宝にも恵まれ、傍目にも幸せそうな家庭に見えたが、いわゆる「テクノ・ストレス」がボディーブローのように彼の神経をむしばみ始めていた。職場でボーッとすることが増え、上司に少し休んだらどうか、と示唆され、半月ほど仕事を離れたが、風呂場でリストカットをした。救急車で運ばれ

て事無きを得たのだが、この頃から妻ともギクシャクし始め、とうとう離婚して妻子を残し帰郷してしまった。仕事人間なので会社側は「戻って来てくれ」と何度も連絡してくれたのだがやがて退社。その頃から淋しさを紛らわすためアルコールを多量に呑むようになり、自分を見失ってしまって今は精神病院に入院している。

**こ**の症例などは、会社の産業医がもっと初期の段階で適切な対応をしてくれていれば、違った結果になったかも知れない。

**次**も同年代の男性の症例。生真面目な性格で、比較的無口、誠実。荒れる学校で二十年以上も体を張ってきた。大好きな野球の指導が趣味と実益を兼ねており、学校では監督を長年務めている。近頃の教師は体罰などもつてのほかであり、生徒もろくにしつけられておらずやりたい放題、常識もわきまえない若い父兄等、大変ストレスのたまりやすい職業の一つである。彼はクラス担任をこなす上に進路指導も、野球部監督もやってかなり多忙だった。

**あ**る年の秋頃、起きるのが辛くなってきた。学校にも足が向かず、無断欠勤などしたこともない男が、出勤しなくなってきたのだ。フ lari と車で郊外に行き、ダムを見下ろして煙草を吸っていた時に「湖に吸い

込まれそうな」感覚に襲われ「これはイカン!」と当院を受診された。じっくりと話をきき、「必ず良くなるから」「今は一生懸命に怠けましょう」と伝える。

**幸**い、校長も家族もこの病気に理解が深く、数か月間の休職がスムーズに認められた。内服・注射・点滴の薬物療法の三本柱と、週に一度の小一時間のカウンセリングを併用したところ、年明け頃から徐々に元気が出て、春先には無事に元の学校に戻って行けた。勿論「うつ病」は再発の可能性もあるので週一回の診察や服薬は当分続ける予定である。

**最**後の症例は、やはり同年代の自営業者。スーパーを数店舗展開していたが、バブル崩壊で一店、また一店と閉鎖を余儀なくされ、その頃からパニック・ディスオーダーという診断が下され、一人で車に乗れなくなった。店員か家族が隣に座って「いつでも交代できる」と思えばハンドルが握れるという。発作が起きると頭に血がのぼり、心臓はバクバク打ち出して冷や汗が流れ、「死の恐怖」に襲われるという。

**彼**は行動派なので、インターネットでいろんな「神経症」のサイトを検索し、オフ会に参加して意見交換したり、十年近く懸命に病気を治そうと努力を続けていた。皮肉なことに「ええい、もうこの病気は治るもんじゃない、一生つき合ってやるわい」と開き直った時に症状が軽くなったという。

**今**は特効薬をポケットに常時忍ばせているが「お守りがわり」であり、のむこともない。実は彼は同級生であり、執拗に症状を電話で訴えてきていたのだが、ある時私もキレそうになって「もしお前がパニック発作だけで死んだら、俺が論文を提出して医学博士号をとっちゃるわい」と伝えてから良くなった。

**精**神・神経科領域の疾患は年々増えており「うつ病」などは成人の十五人に一人が経験すると言われている。「自殺」という最悪の結末を避けるために「ちょっと心が疲れてるな」と感じたら、近くの心療内科や神経科で気軽に診察を受けていただきたいと切に願う。

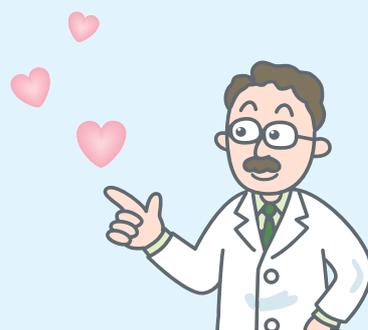
**ア**メリカでは定期的に精神科クリニックにかかってきちんとプロのカウンセリングを受けている人たちは尊敬されているという。精神科受診歴があるだけで色メガネで見られるわが国とは雲泥の差といえようか。

**こ**れからは精神科医・心療内科医がストレスフルな職場を巡回するような社会的システムの構築が望まれるのではないか。統合失調症にも良く効く薬が発売され、心の病も以前ほど恐れられることは少なくなってきたが、いまだに偏見・差別は根強い。

**「心**の時代」と呼ばれる21世紀こそ、職場が「ストレスだらけの辛い空間」から脱して、笑顔で働ける場にしていけるように…。

**産**業医としてどのようにかかわっていけるのか、いろいろと模索している今日この頃だ。

(清谷医院院長)



# デジタル粉じん計LD-3Kによる 粉じん測定操作について



高知産業保健推進センター

相談員 門田 義彦



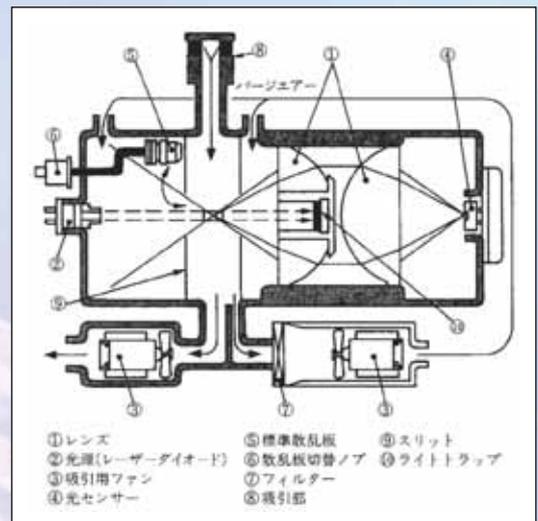
相対濃度指示方式の粉じん計を使用すれば、健康に影響を及ぼす作業場内の粉じんや溶接ヒューム、たばこの煙の濃度を比較的簡単に測定することができます。ここでは、当センターが保有するレーザー式デジタル粉じん計( LD-3K )を中心に操作方法を紹介します。

## 原理

暗い室内に平行光源があると、この光の中で空中のホコリがキラキラと光る( 散乱光 )のを見ることができます。この散乱光の強さは、同じ性質の粉じんでは濃度に比例することがわかっています。デジタル粉じん計はこの性質を利用して、空気中の粉じん濃度を測定するものです。LD-3Kは、半導体レーザーを光源として暗箱中に吸引した粉じんに照射し、引き起こされた散乱光を測定することを特徴としています。

デジタル粉じん計は、内部で測定した散乱光を測定時間内の数値( 相対値 )としてカウントします。カウントした相対値に質量濃度変換係数( 相対値1カウントあたりの粉じん重量濃度を示す係数 K値 )をかけて、各測定点の粉じん濃度を求めることができます。なお質量濃度変換係数( K値 )は、測定対象とする粉じんの種類別に示された値や、相対濃度測定と同時にロウポリウムサンプラー等を使って測定したものを使います。

このようにデジタル粉じん計は、粉じん濃度を1測定点あたり通常1分間程度で簡単かつ正確に測定することができるわけです。



## 特徴

デジタル粉じん計の長所として以下のことをあげることができます。

取扱いが簡単で特別な熟練を必要とせず、個人差が少ない。

短時間で測定できる。通常1測定点の測定時間は1～2分程度。

小型軽量で、携帯、移動に便利。

電池を内蔵しているので、交流電源は必要ない。

一方で、使用にあたっては次の点に注意が必要となります。

質量濃度変換係数( K値 )は粉じんの性質によって異なるので、正確な濃度を知るには、エアースンプラーなどで同時に粉じんを捕集して、K値を求める必要がある。

測定しようとする粉じん以外のすべての浮遊粒子状物質の影響を受ける。

精密機械なので、粗雑な取扱いは故障の原因となる。

## 質量濃度変換係数(K値)

概略の粉じん濃度を知りたいときには、質量濃度変換係数(K値)として次の数値を使います。

対象粉じん	質量濃度変換係数(K値)
特定粉じん等	0.0025 mg/m <sup>3</sup> /cpm
たばこの煙等	0.0008 mg/m <sup>3</sup> /cpm

粉じん濃度(mg/m<sup>3</sup>)=1分間のデジタル粉じん計カウント値(cpm)×質量濃度変換係数(K値 mg/m<sup>3</sup>/cpm)

なお、LD-3Kには、あらかじめK値を入力することによって、カウント値を質量濃度に変換する機能もあります。おって、特定粉じんとは、粉じん障害予防規則別表第2に掲げる特定粉じん発生源からの粉じんをいいます。

## 測定操作

本体電源投入します。

電源投入後機器の自己診断が終了するまで待つて下さい。測定画面が表示されます。

本体上部にある採気口のカバーを上げます。そのまま1分程度放置します。(機器内部洗浄のため)バックグラウンドの測定を行います。

時間設定スイッチを数回押してBGモードに切り替えます。液晶には「BG」と表示されます。

開始/停止スイッチを押します。(6秒間)

液晶に残り時間が表示されます。これがゼロになったらバックグラウンド測定終了です。

感度調整を行います。

本体横にある測定・感度あわせ切り替えノブをSENSI.ADJの位置に押し込みます。

液晶に「SPAN CHECK」と表示されますので、1分程度放置します。

開始/停止スイッチを押します。感度調整には1分程度かかります。

液晶に残り時間が表示されます。これがゼロになったら感度調整終了です。

測定を開始します。

本体横の測定・感度あわせ切り替えノブをMEASUREの位置に戻します。

時間設定スイッチで、測定時間を設定します。設定した測定時間は液晶の左下に小さく表示されます(通常は01min)

採気口のカバーを下げて下さい。

開始/停止スイッチを押します。測定が開始され、このとき液晶に、測定の残り時間が表示されます。これがゼロになったら測定終了です。

測定終了後、液晶に表示されるカウント値を読み取ります。

カウント値に、質量濃度変換係数(K値)をかけて粉じん濃度を求めます。

測定が終わったら採気口のカバーをあげて5分程度動作状態で放置してください。

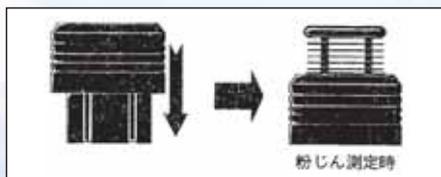


図 採気口カバーの位置

(機器内部洗浄のため)

各測定点ではそれぞれ ~ の動作を繰り返して、粉じん濃度を求めます。

以上のとおり、当センターが所有するデジタル粉じん計によって、作業場の粉じんや事務所のたばこの影響を比較的簡単に測定することができます。

(門田労働衛生コンサルタント事務所所長)

# 産業看護の現場から



(株)富士通高知システムエンジニアリング  
健康管理室 保健師  
三宮 文枝

当社は、昭和60年に設立された、ソフトウェア開発を主な業務とする会社です。職種としては、システムエンジニア( SE )が主です。従業員は約200名、平均年齢34歳と若い社員の多い会社です。

去年の10月に南国オフィスパークに本社が移転し、それに伴いワークスタイルも一新しました。一人一人の決まった机はなく、それぞれがPHSを携帯し好きなところで仕事ができるようになっています。

健康管理室は3年前に作られました。産業医( 嘱託 )1名と保健師1名で、職場環境の改善や健康管理業務にあたっています。

## メンタルヘルス対策

IT業界は技術革新のスピードが非常に早く、当社も常に新しいソフトウェアの開発に追われています。社員は短い納期でいくつもの仕事を掛け持ちしてこなしていかななくてはならず、労働時間も長くなります。すなわち、納期に追われるプレッシャーと許容量を超えた仕事量により健康を害する恐れが高い職種です。そのような背景から、当社では、メンタルヘルス対策と、長時間残業対策に

力を入れています。

私は日頃から職場に出て社員と実際に話す機会を多く持つように心がけています。そうすることで、社員の心身の変調を早期に捉え、適切なアドバイスにつなげることができると考えています。

しかし、保健師ひとりだけの活動では限界も出てきます。現在は、管理課( 人事・総務担当 )と連携し、社員自身が心の健康に気づき対処できるセルフケア能力の向上と、上司が部下の心身の健康を確保するためのラインケア体制の整備に力を入れているところです。



事務室



## VDT作業について

SEの作業特性上、VDT作業が業務の大半を占めています。そのため眼の疲れや肩こりなどVDT症候群への対策が健康管理の上で欠かせません。VDT症候群を効果的に予防するためには、検診を行うことも重要ですが、作業環境の改善や日常生活上の指導も必要です。

人間工学的に工夫されたワークステーションの導入にはすでに取り組んでいますが、検診に併せて職場環境や生活習慣に関する調査を行い、よりきめこまやかな作業環境の改善のために何が必要なかを分析しています。今後は分析結果をもとに、会社や社員にVDT作業に伴う健康障害への理解をさらに深めてもらい、効果的な休憩のとり方やストレッチ体操など具体的な取り組みにつなげていきたいと考えています。



健康管理室

## 気軽に相談できる 保健師をめざす

会社移転の際に、健康管理室の設計について意見を求められました。私は、いかにも診察室という雰囲気のある部屋ではなく、気軽に入れる相談室のようにしてほしいとお願いしました。当社はそれほど大きな規模の会社ではありません。保健師は社員全員の顔がわかる、社員は保健師の顔を知っていて気軽に相談できる。そういった関係を保ちながら、職場の改善や社員の健康管理に取り組んでいきたいと思っています。

# 野山のダニに気を付けよう!

高知県衛生研究所

野山のダニに気を付けて下さい!野山、草地、河川敷などにはマダニやツツガムシなどのダニが生息しています。極まれですが、この虫に刺された人が感染し、発熱、発疹などの症状を示します。この病気はダニの持つ病原リケッチアによっておきますのでリケッチア症と呼ばれています。リケッチア症で、特に高知県で多いのが日本紅斑熱とツツガムシ病です。これらの病気は死に至ることもありますので気を付けましょう。なお、診断できれば良く効く抗生物質も有りますし、病原体を持っていないダニがほとんどですので、刺されたからといって過剰な心配は必要ありません。



マダニ(フタゲチマダニ):日本紅斑熱等の病原体を持つ、室戸市において採集

**マダニ類:**マダニは卵からかえったばかりの**幼ダニ**の時は脚は6本で、草の上などで、炭酸ガス、振動、音などを頼りにして通りかかった動物に寄生し、3~4日で飽血(満腹)して動物から落下、地面で1回目の脱皮をします。1回脱皮すると**若ダニ**となり、脚は8本になります。幼ダニと同じ要領で動物に寄生、飽血後2回目の脱皮をし、**成ダニ(2~10mm)**に成長します。成ダニも寄生動物を探し、約1~数週間かけて飽血します。飽血した成ダニはアズキ粒くらいの大きさになる。メスは約2,000~6,000個、時には10,000個の卵を産みます。高知県衛生研究所でもマダニの生息調査をしましたが、日本紅斑熱の患者が多く発生している室戸市においてはマダニの種類、数共に多く生息していることが明らかになっています。また、室戸市に比べると少ないですが、県下全域にマダニが生息していることも明らかになっています。



ツツガムシ(タテツツガムシ):ツツガムシ病の病原体を持つ、大豊町において採集

**ツツガムシ類:**ツツガムシは一世代に一度だけ、卵からかえった後の幼虫期に動物に寄生して病原リケッチアを媒介します。わが国で病原リケッチアを媒介するのはアカツツガムシ(*Leptotrombidium akamushi*)、タテツツガムシ(*L. scutellare*)、フトゲツツガムシ(*L. palidam*)の3種であり、それぞれのダニの0.1~3%がリケッチアを持つ有毒ダニであると言われています。高知県衛生研究所で調査した結果、近年、**高知県で発生しているツツガムシ病はタテツツガムシによること**が明らかになっています。寄生し吸着する時間は1~2日で、ダニから動物へのリケッチアの移行にはおよそ6時間が必要です。リケッチアはダニからダニへ経卵感染により受け継がれています。また、若虫、成虫期は土壤中で昆虫の卵などを摂食して生活をします。

ダニやダニに関する病気のことや心配事、疑問点などが有りましたら最寄りの保健所あるいは衛生研究所にご相談下さい。

## ○ダニや日本紅斑熱、ツツガムシ病に関する相談窓口(TEL)

- ・東部保健所 0887-34-3175
- ・中央東保健所 0887-53-3172
- ・高知市保健所 088-822-0577
- ・中央西保健所 0889-22-1247
- ・高幡保健所 0889-42-1875
- ・幡多保健所 0880-34-3175
- ・衛生研究所 088-821-3960

## ○高知県におけるダニやダニに関する病気の情報入手先

- ・衛生研究所ホムペ - ジ
- <http://www.med.net-kochi.gr.jp/eiken/>

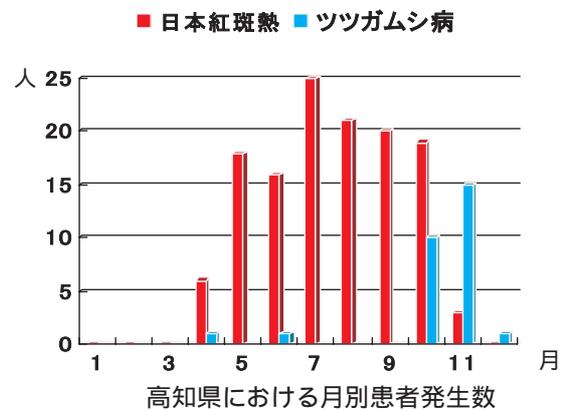
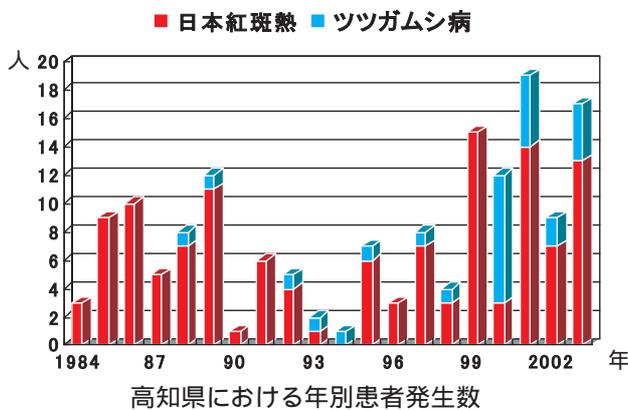


マダニ(キチマダニ):日本紅斑熱等の病原体を持つ、室戸市において採集

# 日本紅斑熱、ツツガムシ病の発生状況

全国的には日本紅斑熱は高知、徳島、愛媛を含む17府県から、ツツガムシ病は北海道を除く全ての都府県から発生しています。高知県における日本紅斑熱の発生は全国一であり、1984年以降2003年までに7市町村から128例発生、うち、115例(90%)は室戸市から発生しています。ツツガムシ病は同期間で6町村から28例発生、うち、25例(89%)は嶺北地域(大豊町、土佐町、本山町)から発生しています。どちらの病気も野山、河川敷等で発生していますが、日本紅斑熱は沿岸部、ツツガムシ病

は山間部の地域から発生しています。患者の月別発生状況を見ると日本紅斑熱は4月から11月の間に発生していて、特に5月から10月の間が多くなっています。これはマダニの活動期、繁殖期、また、ヒトが野山等に多く立ち入る時期と関係があるものと思われます。ツツガムシ病は近年では10月から12月の秋・冬に全て発生しています。これは高知県の感染がタテツツガムシによるものであることを示していることと思われます。



## 日本紅斑熱、ツツガムシ病の症状と予防について

○日本紅斑熱の症状…マダニに刺されて2から8日後に頭痛や悪寒戦りつなどを伴って急激に高熱が出ます。高熱出現にやや遅れて、全身に米粒大～小豆大の紅斑(発疹)が多数現れます。この間痛みやかゆみを感じないのが特徴です。また、マダニの刺し口を見つけることもこの病気の診断のため重要です。

○ツツガムシ病の症状…ツツガムシに刺されてから7から10日ほどして日本紅斑熱と同様の症状が出ます。発熱と同時または2から3日後に顔面、体幹、全身に不規則な紅斑・丘疹性の発疹が現れます。ツツガムシの刺し口は経約10mm(日本紅斑熱より大きい)の黒褐色のかさぶたに被われた潰瘍として確認されます。刺し口に近い所属リンパ節、あるいは全身のリンパ節が腫れます。

○日本紅斑熱、ツツガムシ病の予防…予防で最も重要なことはマダニ、ツツガムシに刺されないことです。具体的にはこのようなダニが生息する山野、河川敷等にはなるべく立ち入らないことです。やむおえず

立ち入る場合は長袖の上着、長ズボン、長靴、手袋などを着用し、素肌の露出を避け、立ち入った後には必ず入浴し、付着しているかも知れないダニを洗い落として下さい。

○マダニ、ツツガムシに刺されたら…ダニに刺されている(付着している)ことに気が付いたら自分で取らずに皮膚科を受診するようにして下さい。(下手につぶすと病原体が流入して感染の可能性を増してしまいます。)刺された記憶が無くても、野山等に出入りした後、数日から数週間後に発熱、紅斑(発疹)を認めた場合は皮膚科に受診して下さい。

○日本紅斑熱、ツツガムシ病の治療…治療は、早期に本症を疑い、適切な抗菌薬を投与することが極めて重要です。テトラサイクリン系の抗生物質の投与で治療すると軽症で済む例が多いのですが、放置すると、神経症状、心症状、関節炎等をきたし、重症になる場合が有りますので、早期治療が重要です。

# 東部保健所における 働く人の支援事業について

東部保健所長 鈴木 順一郎

## はじめに

当保健所は県東部に位置し、2市4町3村、6万人ほどの管内人口を管轄しています。一次産業である農林漁業に従事する人の割合は、30%近く県平均の2倍となっています。

平成13年度から安芸地区勤労者健康づくり推進協議会を設置して本格的に職域関係機関との連携を進めています。平成13年度には、JAあき農協のナス集荷場の職場環境診断を、平成14年度には、管内の事業主に対する「小規模事業所における健康づくり実態調査」を実施し、平成15年度には、国費補助を受けて地域・職域連携モデル事業を実施し、ナス集荷場、森林組合、電源開発事業所等を対象とした働く人の健康づくりに取り組みました。

今回は、平成15年度に健康状況や健康障害要因を総合的に把握し、対策を提案、実施した一部の事業を報告させていただきます。

## 事業報告

### 1) 農産物の集荷場で働く人々の健康づくり

#### 健康調査と作業環境診断、作業方法・態様の把握

対象としたナスの集荷場の勤労者は中高年の女性が大半を占め、全員パートタイムであり、まず職場として把握されていない個人の健康問題及び環境のリスク要因の把握を行いました。その結果、i) 騒音を認め、耳栓装着などの防音対策、ii) 腰痛、肩こり等筋骨格系の訴えが多く、人間工学的な検討や適切な休息、体操、iii) 受動喫煙や火災の防止、また精密機器の品質劣化防止等の観点から、事業所の喫煙対策(喫煙コーナーや喫煙室の設置)、iv) 寒冷の訴えが多く寒冷対策及び気流対策が必要であること等が明らかになりました。

#### 環境改善、健康づくりのための対策

ナス集荷場の工場長の協力のもとに防音対策や腰痛予防対策として、昼休みを利用して耳栓装着の体験や理学療法士による腰痛体操・ウォーキング指導を行いました。

### 2) 山で働く人々の健康づくり

少し経緯があり、平成13年度に日頃の勤労者の健康状態や継続的な就労に不安を感じた森林組合長から林業従事者の健康指導の要望が村の保健師(保健福祉課長)に持ちかけられ、保健所との協議を経て平成14年度から事業化することになりました。

#### 過去5年間の定期健康診断結果の分析

対象者は、5~6名の班編成で働いている生産16名、植林19名と事務7名、計42名であり、平均年齢は、それぞれ49.6歳、53.3歳、47.1歳と高齢化が進んでいました。定期健康診断結果の分析を行い、i) 生産男性

の40歳代の80%、50歳代の60%は中等度以上の肝機能異常があり飲酒が原因と考えられること、ii) 難聴者が特に生産に多いこと、iii) 個別生活指導が必要な者がいることなどが明らかになりました。

### 生活・健康アンケート調査

健康診断結果の分析を受けて、更に個々の生活や健康状態をアンケートにより把握し、i) 「時々、健康に不安を感じる」又は「不健康と感じる人」は40歳代から増加し、60歳代では半数を超えていたこと、ii) 現在、治療中の疾病は生産で腰痛・膝痛25.1%、植林で高血圧15.8%、糖尿病5.3%、高脂血症5.3%などであったこと、iii) 自覚症状有訴数が4以上の者が植林では半数程度であったが、生産では90%近くあり、腰痛、膝痛などの筋骨格器系やだるい・疲れ、下痢・便秘など疲労の訴えが多かったこと、iv) 飲酒については、自宅外飲酒との関連で月2回以上(特に毎週)で肝機能異常となっていたこと、v) 喫煙については、生産と事務で喫煙率が90.9%、100%と高率であり、断煙の希望も72.7%、80.0%あったこと、vi) 身体の活動性や腰痛の予防につながる体操や筋力トレーニングについては、殆ど実施されていなかったこと、vii) 男性に比べて女性で、食事や睡眠、血圧測定などに気をつけている者が多かったことなどが明らかになりました。

### 作業環境診断、作業方法・態様の把握

実際に、生産従事者の作業現場に赴き、環境診断を行い、i) チェーンソーの使用時には95dBを超える騒音があり、ii) 耳栓の装着レベルであること、iii) 無理な姿勢があり種々の腰痛リスクがあること、iv) 熱暑時には脱水に配慮する必要があることなどが指摘されました。

### 体力測定

従事者の高齢化する中で、厳しい屋外労働を安全に行うためにも体力測定を行うこととなり、生産従事者の持久力については各年代で全国標準レベルであり、握力は40～50歳代で低く、柔軟性は50歳代で低いことがわかりました。

### 森林組合健康増進プランの作成

以上の結果を受け、定年後も健やかで活動的な生活を維持できるように課題と対策のための健康増進プランを作成しました。

## おわりに

安芸地区勤労者健康づくり協議会は、地域と職域の連携の具体的な論議や研修会の場であり、また事業化により職場ごとの課題の整理と対策を実施しました。対象となった職場は、生活習慣病、腰痛、騒音などが課題となっており、その自らの改善には、事業主、勤労者の健康への関心がまず大切であり、私たちの活動が少しでも環境改善や気づき、職業生活スキルの向上に役立てばと考えています。

働き盛りの健康づくりは、息の長い戦略的な取り組みが必要であり、各関係機関とのパートナーシップに基づくネットワークを大切に事業展開を図って行きたいと思えます。

### 生活・健康アンケート調査結果報告

#### まとめ

～できる事からはじめよう～

- 新しい健康観や目標を持ちましょう
- 自分の体力を知ろう
- 腰痛・膝痛対策として職場や自宅でストレッチングや体操を
- 断煙や節酒に取組もう
- 適切な食事について認識を深めよう
- 安全な職場となるためには



25

## 管内の労働災害発生状況等について

高知労働局労働基準部安全衛生課

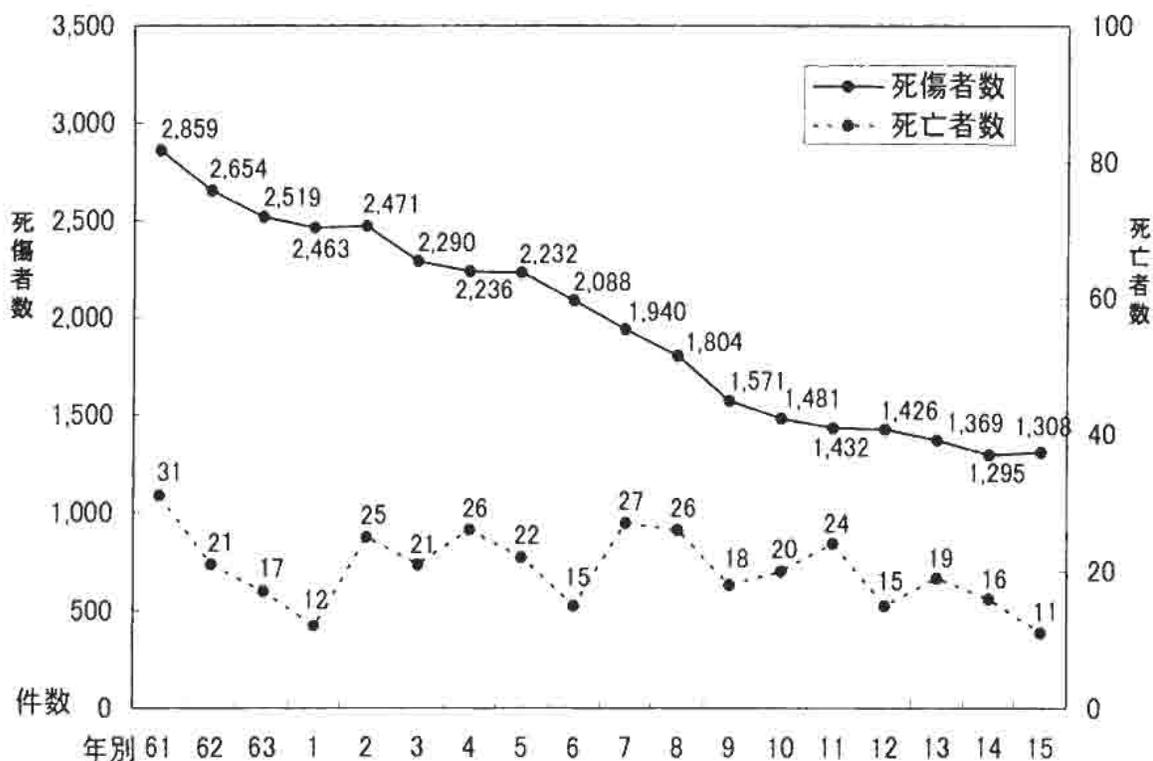
## ☆労働災害発生の推移

高知県では、労働災害による休業4日以上死傷者数は、長期的には減少傾向にありましたが、平成15年は13年ぶりに増加となりました。

また、死亡者数について平成15年は、前年に引き続き減少しましたが、近年増減を繰り返しており、大幅な減少となっていません。

業種別には建設業における労働災害が依然として多発しているほか、平成15年には、林業における労働災害が大幅に増加しました。

労働災害を事故の型別にみると、いわゆる在来型の「墜落・転落」、「挟まれ・巻きこまれ」、「転倒」災害が多くみられることから、災害防止に向けた繰り返しの対策が必要だと考えます。

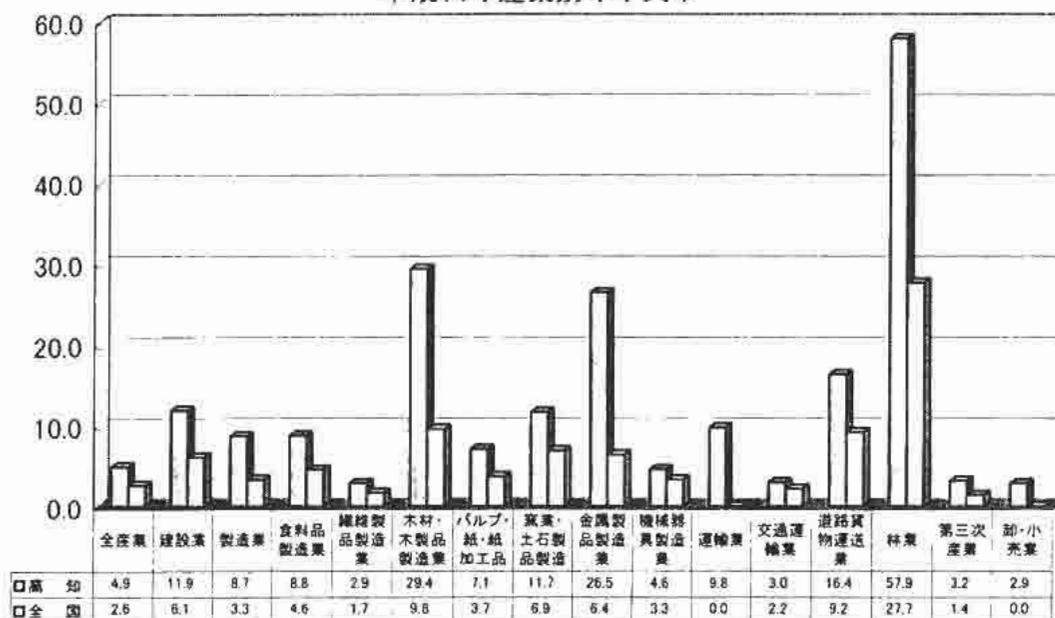


## ☆労働災害発生率(死傷年千人率)について

高知県における労働災害の発生率(死傷年千人率)は年々減少しているものの、平成14年の全産業の死傷年千人率は全国平均と比較して約1.9倍と高い災害発生率となっています。

業種別に全国平均と比較すると建設業が約2.0倍、林業はここ数年、増減を繰り返しているものの、約2.1倍の高い災害発生率となっています。製造業では、木材・木製品製造業と金属製品製造業が約3倍以上の高い災害発生率となっています。

平成14年産業別年千人率



### ☆ 定期健康診断結果報告による有所見率

高知県の全産業における一般定期健康診断の有所見率を全国平均と比較すると、半数以上の項目において全国平均を上回っており、なかでも血圧、肝機能検査、血糖検査など生活習慣に関連の深い項目で有所見率が高くなっています。

このため、健康診断の実施はもとより、その結果に基づく事後措置や保健指導を適切に実施する必要があります。

また、厳しい経済情勢の中で仕事や職場生活に関する強い不安、悩みを有する労働者の割合が多くなっています。

平成15年の定期健康診断結果報告による有所見率

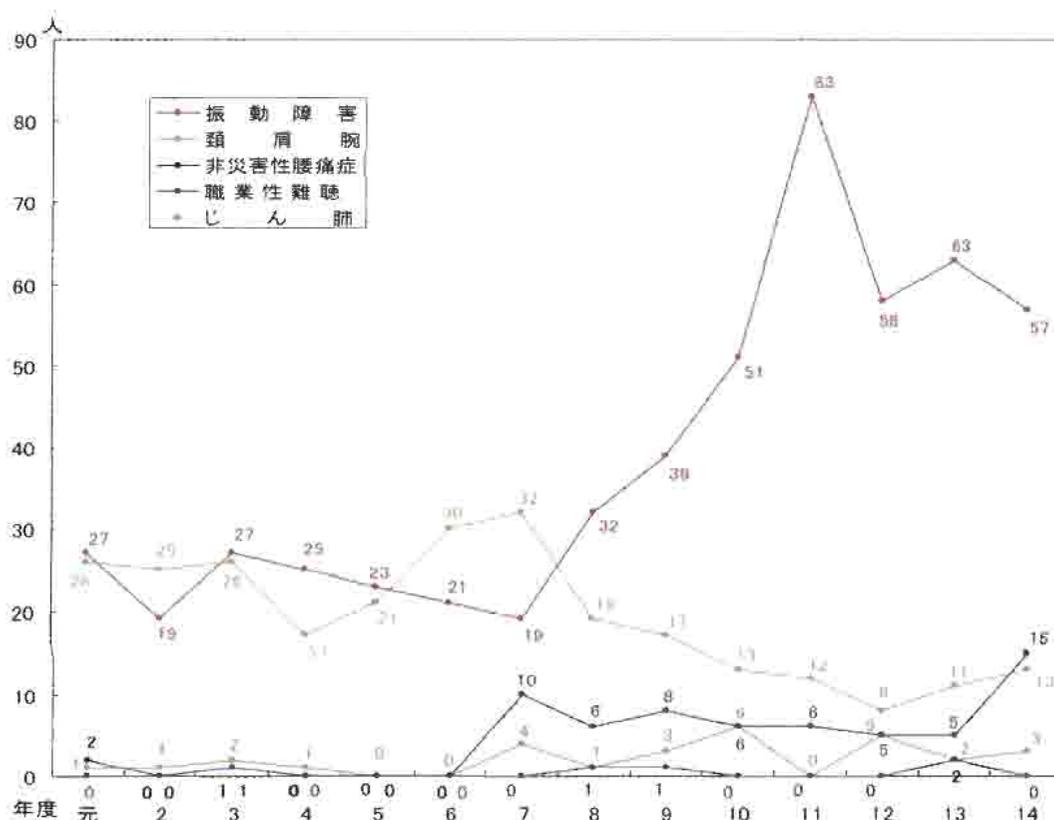
項目 業種	聴力 (1000Hz)	聴力 (4000Hz)	胸部X 線	血圧	貧血	肝機能	血中脂 質	血糖	尿 (糖)	尿 (蛋白)	心電図	有所見
全産業高知県	3.42	8.74	4.22	12.23	6.38	16.41	25.45	9.84	2.76	3.34	8.93	47.95
全国	3.80	8.51	3.36	11.91	6.53	15.36	29.08	8.33	3.14	3.20	8.92	47.29
製造業高知県	3.75	11.46	2.42	13.70	6.27	18.37	23.27	9.72	2.74	2.39	7.19	49.55
全国	4.11	10.62	3.05	12.21	6.27	15.66	29.31	8.75	3.20	2.85	8.87	46.82
建設業高知県	5.71	18.06	3.71	15.58	4.36	25.70	27.91	15.41	5.24	4.60	7.33	61.35
全国	3.86	12.33	3.76	13.95	5.63	22.27	32.55	11.05	4.52	3.92	9.39	55.94
農林業高知県	2.99	16.77	2.53	16.84	7.61	11.29	15.68	9.68	3.06	1.61	8.38	44.39
全国	7.58	22.05	5.24	18.36	8.30	19.13	33.20	10.93	4.45	4.12	14.90	63.52

※労働者数 50 人以上の事業所から提出された定期健康診断結果報告により作成したものです。

## ★ 職業性疾病の推移(労災保険認定者数)

平成14年度における職業性疾病の新規認定状況をみると振動障害57人、頸肩腕症候群13人、職業性難聴15人、じん肺13人となっています。特に職業性難聴の増加が認められます。

従来から発生しているこれらの疾病が業務上疾病の大部分を占めるという傾向は以前から続いています。



職業性疾病の推移(労災保険認定者数)

年 度 別	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
振 動 障 害	27	19	27	25	23	21	19	32	39	51	83	58	63	57
頸 肩 腕	1	1	2	1	0	0	4	1	3	6	0	5	2	3
非 災 害 性 腰 痛 症	2	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0
職 業 性 難 聴	0	0	1	0	0	0	10	6	8	6	6	5	5	15
じ ん 肺	26	25	26	17	21	30	32	19	17	13	12	8	11	13

注. 一人親方を含む。

脳 血 管 疾 患	0	0	0	4	0
虚 血 性 心 疾 患 等	1	2	0	0	1
精 神 障 害	0	1	0	1	1

# 須崎地域 センターだより



須崎地域産業保健センター

コーディネーター 市川 勇



須崎地域産業保健センターは、須崎市、春野町、伊野町、池川町、佐川町、越知町、中土佐町、窪川町、梶原町、吾北村、吾川村、日高村、仁淀村、葉山村、東津野村、大野見村を担当区域とし、小規模事業場(50人未満の労働者を使用する事業場)への産業保健サービスの提供を目的として設置され、高岡郡医師会が厚生労働省から委託を受け運営し、今年で8年目を迎えました。

当センターの主な業務は、健康相談窓口の開設、個別訪問による産業保健指導、産業保健情報の提供であります。

## 移動相談窓口の取り組みについて

移動相談窓口の開設は、今年で6年目に入り、この間、産業医の先生が所属する医療機関など関係各位のご協力をいただき、軌道に乗ることができました。

この移動相談窓口を開設するに至った経緯は、当センター事務所で健康相談を受けていましたが、利用が低調であったことから、相談者が利用しやすい場所に窓口を開設することにしたものです。

移動相談窓口は、管内を8つの地域に分け、事業主に相談日時及び場所を指定した案内状を出しています。その結果、2年目から相談件数が増加し、今や当センター事業の大きな柱となりました。その相談件数の推移は図1のとおりであります。

相談日が平日であることから労働者からの相談は少なく、事業者からの相談がほとんどで、相談内容は、「労働安全衛生法第66条の4に定める健康診断の結果について異常な所見があった場合には、労働者の健康を保持するために必要な措置について、医師の意見を聴くもの」が主なものとなっています。

最近の相談では、「過重労働による健康障害を防止するため、一定以上の時間外労働を行った労働者に対する産業医による助言指導」を行いました。利用した小規模事業場からは相談が無料であり大変助かりましたと感謝されました。

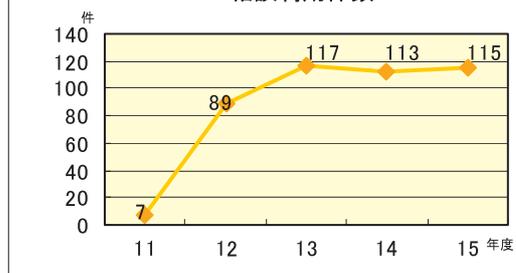


## 今後の取り組み

今後の取り組みについては、従来の待ちの姿勢から出前に転じて、事業場に直接出向いて健康管理情報の提供、窓口を利用する立場に目線を置いて意見を聞く等積極的な活動が必要と思っています。

地域産業保健センターをより多くの方に利用していただき、小規模事業場で働く皆さんの健康の確保・増進につながるよう努めてまいります。

図1 移動相談窓口実施状況(年度別推移) 相談利用件数



# 産業医学研修会のご案内

## 概要

会場 高知市鷹匠町2-1-36 高知県医師会館3階ホール( 7・11事業場訪問による研修を除く。)  
 定員 事業場訪問による研修( 7, 11)のみ 20人( 定員に達し次第締め切らせていただきます。)  
 申込期限 開催日の10日前  
 受講料 無料です。  
 申込 下記の「受講申込書」に必要事項を記入のうえ、当センターまでFAXにより申し込みください。  
 申込先 高知産業保健推進センター  
 電話 088-826-6155 FAX 088-826-6151 住所 高知市本町4丁目2-40 ニッセイ高知ビル4階

番号	日時	研修内容・講師(予定)	単位(申請中)
7	9月30日(木) 14時30分～16時30分	<b>事業場訪問による研修</b> 講師 鈴木 秀吉 氏(高知産業保健推進センター所長) 門田 義彦 氏(高知産業保健推進センター基幹相談員) 杉原 由紀 氏(高知産業保健推進センター特別相談員)	生涯実施・2単位
8	10月14日(木) 14時30分～16時30分	<b>働く女性の健康管理</b> 講師 宮内 文久氏(愛媛労災病院 働く女性メディカルセンター長)	生涯専門・2単位
9	11月18日(木) 14時30分～16時30分	<b>自覚症状調査票の利用と健康管理</b> 講師 鈴木 庄亮 氏(群馬産業保健推進センター所長)	生涯専門・2単位
10	12月9日(木) 14時30分～16時30分	<b>化学物質取扱いによる健康障害事例と最近の傾向</b> 講師 原 一郎 氏(関西医科大学名誉教授)	生涯専門・2単位
11	12月16日(木) 14時30分～16時30分	<b>事業場訪問による研修</b> 講師 甲田 茂樹 氏(高知産業保健推進センター基幹相談員) 杉原 由紀 氏(高知産業保健推進センター特別相談員)	生涯実施・2単位
12	1月19日(水) 14時30分～16時30分	<b>精神科医・心療内科医に期待するメンタルヘルス</b> 講師 山本 晴義 氏(横浜労災病院勤労者メンタルヘルスセンター長)	生涯専門・2単位
13	2月16日(水) 14時30分～16時30分	<b>手持ち振動工具による手腕振動障害</b> 講師 那須 吉郎 氏(山陰労災病院 整形外科部長・振動障害センター長)	生涯専門・2単位
14	3月16日(水) 14時30分～16時30分	<b>働く人のメンタルヘルス</b> 講師 川上 憲人 氏(岡山大学大学院教授)	生涯専門・2単位

----- キリトリセン -----

## 産業医学研修会申込書

受講者氏名		連絡先電話番号	
受講票 送付先	〒 住所		
	名称等		
送付先が勤務場所の場合、勤務先の名称及び部 課等の記入をお願いいたします。			
産業医認定番号	資格更新期限	年	月
受講希望	番号	開催日	
		平成	年 月 日
		平成	年 月 日
		平成	年 月 日
		平成	年 月 日

# 産業保健セミナーのご案内

当センターでは、衛生管理者、事業主、労務担当者、保健師、労働者等、産業保健関係者に対するセミナーを平成16年度(9月～3月)次頁のとおり開催することとしていますので、ぜひご聴講下さい。

## 概要

定員 30名(定員に達し次第締め切らせていただきます。)

なお、受講者が少数の場合は、休講とすることもあります。その際は、受講希望者にご連絡いたします。

場所 当センター研修室

受講料 無料です。

駐車場 当センターは駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。

申込 下記の「受講申込書」に必要事項を記入のうえ、当センターまで郵送又はFAXにより申し込みください。

申込先 高知産業保健推進センター

電話 088-826-6155 FAX 088-826-6151

住所 高知市本町4丁目2-40 ニッセイ高知ビル4階

-----キリトリセン-----

## 産業保健セミナー受講申込書

事業場名				業種	
所在地				電話	
受講者	職名			職種(該当するものに印をお願いします) ・衛生管理者 ・保健師 ・看護師 ・労務管理担当者 ・産業保健機関 ・事業主 ・労働者 ・その他	
	お名前				
開催日			テ - マ		
平成	年	月	日		
平成	年	月	日		
平成	年	月	日		
平成	年	月	日		
平成	年	月	日		
平成	年	月	日		
平成	年	月	日		

# 平成16年度 産業保健セミナー開催予定(9月～3月)

開催日時	開催場所	テ - マ・内 容	講 師
平成16年9月16日(木) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	電磁波は本当に有害か 一般に非電離放射線も電離放射線と同様に考えられがちですが、違いを明確にし、有害域を明確にします。	中村裕之氏(高知大学医学部教授、特別相談員)
平成16年9月22日(水) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	健康のために歯を大切にしましょう ～ 歯を失う主な疾患～ 歯の治療は痛くなってからでいいの? 歯は直接命に関係ないから痛くなったときに治療に行けばいい。こんな風に考えている職場の方が多いのではないのでしょうか。歯を失う疾患である虫歯と、特に歯周病に関する情報をお話します。	江淵有三氏(江淵歯科診療所院長、特別相談員)
平成16年10月7日(木) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	職業と歯科疾患 意外と知られていない睡眠時無呼吸症候群と歯・歯科疾患と仕事の関連、歯科健診を行うことの効果等をお話します。	奴田原淳氏(奴田原歯科医院理事長、特別相談員)
平成16年10月15日(金) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	現代生活と栄養 3回シリーズで行います。	川村美笑子氏(高知女子大学生活科学部教授、特別相談員)
平成16年10月28日(木) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	健康診断結果を生かしましょう 結果を見て不安になったり、心配することはないでしょうか。結果をこれからの健康に生かせることがないか考えてみましょう。	五十嵐恵子氏(高知県総合保健協会保健業務課長、基幹相談員)
平成16年11月11日(木) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	うつ病からの回復と復職 うつ病が治るといことはどういうことなのでしょうか? かつての私は診察室に現われる患者さんの言動にあらわれる症状がなくなればよしとしていました。しかし、パブル崩壊後の復職の難しさと、すっきり治りきらなかったり再発しやすい状況を見てみると、目の前の症状がなくなるだけではダメだと痛感するようになりました。「自信を取り戻す」ということをキーワードにうつ病から立ち直っていくとはどういうことなのか、そして復職のためにどうしたらいいのかという話をさせてもらいたいと思っています。	宮崎洋一氏(近森病院第二分院副院長、特別相談員)
平成16年11月25日(木) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	作業環境測定値の評価方法について 作業環境測定の概要、測定結果の評価、測定結果に基づく措置についてお話します。	川村清雄氏(株)東洋技研技術顧問、基幹相談員)
平成16年12月2日(木) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	メンタルヘルス対策の進め方 厚生労働省のメンタルヘルス指針に沿った進め方の基本的な考え方をお話します。	久保田聡美氏(高知女子大学看護学部博士課程、特別相談員)
平成16年12月17日(金) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	現代生活と栄養 3回シリーズで行います。	川村美笑子氏(高知女子大学生活科学部教授、特別相談員)
平成17年1月14日(金) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	VDT作業者の健康管理 作業姿勢、ディスプレイ画面の問題、作業時間を中心にお話します。	森岡茂治氏(こんどうクリニック院長、基幹相談員)
平成17年1月21日(金) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	現代生活と栄養 3回シリーズで行います。	川村美笑子氏(高知女子大学生活科学部教授、特別相談員)
平成17年2月3日(木) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	職場の花粉症対策 昨今の花粉症の増加は、仕事効率の低下を引き起こし、労働衛生上の大きな問題です。対症療法や免疫療法はもとより効果的なマスクの選び方を実践します。	中村裕之氏(高知大学医学部教授、特別相談員)
平成17年2月17日(木) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	からだと心のリラクセス 疲れを訴える方が多くなりました。 ストレッチ、自律訓練法ほかにも・・・ご紹介します。	五十嵐恵子氏(高知県総合保健協会保健業務課長、基幹相談員)
平成17年3月4日(金) 14時～15時30分	当センター 研 修 室	不眠の正しい考え方と対策 不眠の原因、仕事への影響、寝酒の問題、健康との関連、不眠への対応などについて説明します。	伊藤高氏(いとうクリニック院長、基幹相談員)
平成17年3月17日(木) 15時～16時30分	当センター 研 修 室	健康と運動 健康と食事、有酸素運動、運動と脈拍などを中心にお話します。	森岡茂治氏(こんどうクリニック院長、基幹相談員)



# 地域産業保健センターのご案内



労働者50人未満の事業場では、経済的問題などの理由で、事業場として医師と契約して、労働者に対する健康指導や健康相談などの産業保健サービスを働いている人達に提供することが十分でない状況にあります。

このため、このような事業場で働く人達に対する産業保健サービスを充実する目的で、「地域産業保健センター」を設置しています。

**高知県エリアマップ**

ご利用は無料です!

**健康相談窓口の開設**

- 健康診断の結果が気になる。
- 健康のため、日頃からどんなことに気をつけたいか。
- 従業員の健康管理はどうすればよいか。
- 最近、気分がすぐれない。

などについて医師・保健師などがアドバイスします。

**産業保健情報の提供**

- 日本医師会認定産業医、労働衛生コンサルタント、医療機関、労働衛生機関等の情報を提供します。

**事業場の訪問**

- ご希望により事業場を訪問し、健康管理・作業環境改善の方法等のアドバイスを行います。

## 高知県内の地域産業保健センター

※所在地と相談窓口の開設場所が異なることがありますので、あらかじめ電話で確認の上、ご相談下さい。

センター名	所在地	TEL&FAX
高知 地域産業保健センター	〒780-8037 高知市城山町207-6 (高知医師協同組合内) 月、水、金曜日、第1・第4土曜日、第2・第4日曜日、第3・第4木曜日 (10時～16時、月曜のみ19時まで)	TEL/088-833-1248 FAX/兼用 コーディネーター 小松
須崎 地域産業保健センター	〒785-0011 須崎市東札町5-10 (高岡郡医師会館内) 月、水、金曜日 (10時～16時)	TEL/0889-42-2901 FAX/兼用 コーディネーター 市川
中村 地域産業保健センター	〒787-0015 中村市右山字明治383-8 (幡多医師会館内) 火、水、木曜日 (10時～16時)	TEL/0880-34-4643 FAX/兼用 コーディネーター 松田
安芸・香美 地域産業保健センター	〒784-0022 安芸市庄之芝町1-46 (安芸郡医師会内) 火、水、木曜日 (10時～16時)	TEL/0887-35-3526 FAX/兼用 コーディネーター 橋本

●高知労働局長が市医師会長に委託して、産業保健サービスを事業者・従業員の皆様に提供しています。

# 深夜業に従事する皆様へ 自発的健康診断受診支援助成金のご案内



## 深夜も頑張る あなたが、 明日も元気で いられるように。

深夜業務の方のための  
助成金があります。

### ご存じですか？健康診断費の3/4が助成されます。

仕事が一生命がなげられるのは、元気な身体があつてこそ。深夜労働は、昼間の仕事に比べて身体への負担も大きくなりがち。疲れが気になったら、早めに健康診断を受けましょう。

#### ◆支給対象者

### 深夜業に従事した方

勤務した時間の一部が午後10時から翌日の午前5時に  
かかる方も含まれます

1 常時使用される労働者

2 自発的健康診断を受診する日前6ヶ月の間に1ヶ月当たり4回以上（過去6ヶ月で合計24回以上）深夜業務に従事した方

#### ◆助成金額

健康診断に要した費用（消費税も含む）の  
3/4に相当する額

上限7,500円

※自発的健康診断とは、事業主の行う定期健康診断以外に労働者個人の意志で受ける健康診断をいいます。

※人間ドックにもご利用できます。

※助成は、各年度につき1回に限ります。

※国の直営事業・官公署の事業等の労働保険非適用事業に勤務する労働者は対象となりません。



職場の  
かかりつけ医が  
いると  
**安心**です。

小規模事業場(50人未満)が  
共同して産業医を選任すると  
**助成金が支給**されます。

**産業医共同選任事業**  
(小規模事業場 産業保健活動 支援促進助成金)

都道府県産業保健推進センター

厚生労働省・ 独立行政法人労働者健康福祉機構

編集後記

熱中症で倒れる、エアコン特需など猛暑に関連する話題が多く報道された今年の夏でしたが、皆様は今年の暑い夏をどう乗り切りましたか、お酒を飲み過ぎてベルトが少しきつくなったとか症状は出ていませんか？

さて、まだまだ暑い日が続いていますが、季節はもう秋です。秋といえば読書の秋、行楽の秋、芸術の秋ですがやはり食欲の秋ですね！マツタケには手がでませんが焼きたての秋刀魚に大根おろしは最高です。

これから日に日に秋らしくなり、過ごしやすい季節になってきます。体も心も秋晴れのようにさわやかにして、この季節を有意義に過ごしたいものです。

(副所長)



# 高知産業保健 推進センターの業務

## 窓口相談・実地相談

産業保健に関する様々な問題について、専門スタッフがセンターの窓口、電話等で相談に応じ、解決方法を助言します。



**CONSULTATION**

## 情報の提供

産業保健に関するビデオ、図書等の閲覧、貸出しを行います。また、定期的に情報誌を発行します。



**INFORMATION**

## 研修

産業保健に関する専門的かつ実践的な研修を実施します。また、各機関、各団体が実施する研修について、教育用機材の貸与、講師の紹介を行います。



**STUDY**

## 広報・啓発

職場における産業保健の重要性を理解していただくため、事業主セミナーを開催します。



**SEMINAR**

## 調査研究

産業保健活動に役立つ調査研究を実施し、その結果を提供します。



**RESEARCH**

## 助成金の支給

労働者50人未満の事業場が産業医を共同して選任した場合、助成金を支給します。

深夜業に従事する労働者が自発的に健康診断を受診した場合、助成金(費用の3/4、上限7,500円)を支給します。



**SUBSIDY**

## ご案内図



**無料  
です**

## ご利用いただける日時

休日を除く毎日 AM9:00 ~ PM5:00  
(休日は毎週土・日曜日及び祝日、年末年始)



独立行政法人労働者健康福祉機構

## 高知産業保健推進センター

〒780-0870

高知県高知市本町4-2-40ニッセイ高知ビル4階

TEL 088-826-6155(代) FAX088-826-6151

ホームページ

<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/sanpo39/>

Eメール

[sanpo39@msf.biglobe.ne.jp](mailto:sanpo39@msf.biglobe.ne.jp)